

TURBO HD

バリフォーカルドーム& タレット&バレットカメラ

ユーザーマニュアル

ユーザーマニュアル

この度は当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご不明な点やご要望がございましたら、ご遠慮なく販売店までご連絡ください。

本書は、以下の機種に適用されます。

タイプ	モデル
タイプⅠ	DS-2CE19H0T-AIT3ZF(C)
	DS-2CE19H0T-IT3ZE(C)
タイプⅡ	DS-2CE5AH0T-AVPIT3ZF(C)
	DS-2CE5AH0T-VPIT3ZE(C)
タイプⅢ	DS-2CE79H0T-IT3ZF(C)
	DS-2CE79H0T-IT3ZE(C)

本書には、技術的に正しくない箇所や印刷ミスがいくつか含まれている可能性があり、内容は予告なく変更されることがあります。更新内容は、本書の新バージョンに追加されます。当社は、本書に記載された製品または使用方法を直ちに改善または更新します。

©2021 Hangzhou Hikvision Digital Technology Co. Ltd.
がすべての権利を保有しています。

このマニュアルについて

このユーザーマニュアルには、本製品の使用および管理方法に関する説明が記載されています。以下、写真、図表、画像、その他すべての情報は、説明および解説のためのものです。本書に記載されている内容は、ファームウェアのアップデートなどにより、予告なく変更されることがあります。本マニュアルの最新版は、Hikvision のウェブサイトからご覧ください。(<https://www.hikvision.com/>)

本製品をサポートする訓練を受けた専門家の指導と支援を受けながら、本マニュアルを使用してください。

商標について

HIKVISION およびその他の Hikvision の商標およびロゴは、さまざまな管轄区域における Hikvision の財産です。その他、記載されている商標およびロゴは、それぞれの所有者の財産です。

免責事項

適用される法律が許す最大限の範囲において、本マニュアルおよび記載された製品、そのハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアは、「現状のまま」かつ「すべての欠陥および誤りを含む」状態で提供されています。Hikvision は、商品性、満足度のいく品質、特定目的への適合性を含むがこれに限定されない、明示または黙示の保証を一切行いません。本製品の使用は、お客様ご自身の責任において行われるものとします。Hikvision がそのような損害や損失の可能性を知らされていたとしても、本製品の使用に関連し、特に事業利益の損失、事業の中断、またはデータの損失、システムの破損、文書の損失に対する損害など、契約違反、不法行為（過失を含む）、製品責任、またはその他のいづれに基づいても、いかなる特別、必然、付随的、間接損害についても、Hikvision がお客様に責任を負うことはないものとします。

お客様は、インターネットの性質上、固有のセキュリティリスクがあることを認め、Hikvision はサイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス感染、またはその他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常動作、プライバシー漏洩またはその他の損害について一切の責任を負いません。ただし、Hikvision は必要に応じて適時に技術サポートを提供します。

お客様は、本製品をすべての適用法に従って使用することに同意し、お客様の使用が適用法に適合していることを確認する責任を負うものとします。特に、お客様は、パブリシティ権、知的財産権、データ保護およびその他のプライバシー権を含むがこれらに限定されない第三者の権利を侵害しない方法で本製品を使用する責任を負うものとします。お客様は、本製品を、大量破壊兵器の開発または製造、化学兵器または生物兵器の開発または製造、核爆発物または安全でない核燃料サイクルに関連する活動、あるいは人権侵害の支援を含む、禁止された最終用途に使用してはならないものとします。

本書と適用される法律の間に矛盾がある場合、後者が優先されます。

法規制情報

FCC 情報

コンプライアンスの責任ある当事者によって明示的に承認されていない変更または改造は、機器を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があることに留意してください。FCC 対応：この装置は、FCC 規則のパート 15 に従って、クラス A デジタルデバイスの制限に準拠していることが試験により確認されています。これらの制限は本機が商用環境で使用される場合、有害な干渉に対する適切な保護策を提供するように設計されています。本機は、無線周波エネ

ルギーを発生、使用、放射することがあり、指示に従わずに設置、使用した場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。この機器を住宅地で使用すると、有害な干渉を引き起こす可能性があります。このような場合、ユーザーは自らの責任で干渉を是正する必要があります。

FCC 条件

本機は FCC 規則パート 15 に適合しています。動作は次の 2 つの条件を満たす必要があります。

1. 本機は有害な干渉を引き起こすことはありません。
2. 本機は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したすべての干渉を受け入れる必要があります。

EU 適合宣言



本製品および（該当する場合）付属のアクセサリには「CE」マークが付いており、低電圧指令 2014/35/EU、EMC 指令 2014/30/EU、RoHS 指令 2011/65/EU に記載されている該当する欧州整合規格に準拠しています。



2012/19/EU（WEEE 指令）：このマークがついた製品は、EU 圏内では未分別の一般廃棄物として処理することができません。本機を適切にリサイクルするために、同等の新品を購入する際に地域の販売店に本機を返却するか、指定された回収場所に廃棄してください。詳しくはこちらをご覧ください。

www.recyclethis.info



2006/66/EC（電池指令）：本機には、欧州連合で未分別の一般廃棄物として処理できない電池が含まれています。具体的な電池の情報については、製品の説明書を参照してください。電池にはこのマークが表示され、カドミウム（Cd）、鉛（Pb）、水銀（Hg）を示す文字が含まれている場合があります。適切にリサイクルのために、電池は購入先または指定された回収場所に出してください。詳しくはこちらをご覧ください。

www.recyclethis.info

カナダ ICES-003 準拠

本機は CAN ICES-3 (A)/NMB-3 (A) 規格の要求事項を満たしています。

警告

本機はクラス A の製品です。家庭内環境では、本機は電波障害を引き起こす可能性があります。この場合、ユーザーは適切な対策を講じる必要があります。



安全上のご注意

この取扱説明書は、使用者が製品を正しく使用し、危険や財産上の損失がないようにするためのものです。

注意事項は、「警告」と「注意」に分かれています。

警告：警告を無視した場合、重大な怪我や死亡事故が発生する可能性があります。

注意：注意事項を守らないと、けがや機器の破損の原因になります。

	
警告： 重大な怪我や死亡事故を防ぐために、以下の安全策を守ってください。	注意： けがや物的損害を防ぐため、以下の注意事項に従ってください。



警告

- 本製品の使用にあたっては、国や地域の電気安全に関する規制を厳守してください。
- 入力電圧は、IEC60950-1 規格および IEC62368-1 規格に準拠した SELV（安全特別低電圧）と DC12 V の制限電源の両方を満たす必要があります。詳細については、技術仕様書を参照してください。
- コンセントは機器の近くに設置し、容易にアクセスできるようにしてください。
- 建物の電気設備には、全極型主電源スイッチを組み込む必要があります。
- 過熱や過負荷による火災を避けるため、1つの電源アダプターに複数の機器を接続しないでください。
- プラグがコンセントにしっかり接続されていることを確認してください。
- 壁掛けや天井吊り下げを行う場合は、本体がしっかりと固定されていることを確認してください。
- 万一本機から煙やにおい、異音がしたらすぐに電源を切り、電源コードを抜いて、サービスセンターへご連絡ください。
- 専門家以外が本機を分解することは絶対におやめください。



注意

- 注意：熱い表面部品の取り扱い時に火傷をするおそれがあります。電源を切り 30 分待ってから、部品を扱ってください。このステッカーが貼られた部品は熱くなる可能性があり、不注意で触れないよう注意喚起するためのものです。このステッカーが貼られたデバイスは、アクセスが制限された場所に設置されることを想定しており、作業は専門業者またはその場所に適用される制限の理由と注意事項についての指示を受けたユーザーによってのみ可能です。
- 機器に水滴や水がかからないようにしてください。また、花瓶など、液体の入った物を本機の上に置かないでください。
- 感電事故：メンテナンスの前に、すべての電源を切断してください。
- ろうそくなどの火を機器の上に置かないでください。
- このマニュアルの指示に従い、本機を設置してください。
- けがをしないように、この機器は設置説明書に従って壁にしっかりと固定する必要があります。
- 本機を落としたり、物理的な衝撃を与えたりしないでください。
- センサーモジュールには触れないでください。
- 極端に高温/低温（使用温度：-40°C～60°C）な場所や、埃や湿気の多い場所に置いたり、強い電磁波にさらさないようにしてください。
- クリーニングが必要な場合は、清潔な布に少量のエタノールを含ませて、やさしく拭いてください。
- 太陽などの明るい光に本機を向けしないでください。
- レーザー光線によってセンサーが破損することがありますので、レーザー機器を使用する場合は、センサーの表面にレーザー光線が当たらないようにしてください。
- 電磁波の多い場所や極端に高温/低温な場所、ほこりの多い場所には設置しないでください。
- 熱の蓄積を避けるため、使用する環境は十分に換気してください。
- 非防水機器のため、使用中は液体に近づけないようにしてください。
- 移送時は、カメラを元の梱包材、または同じ材質の梱包材で梱包してください。

目次

1 はじめに	1
1.1 本機の特徴	1
1.2 概要	1
1.2.1 タイプⅠカメラの概要	1
1.2.2 タイプⅡカメラの概要	1
1.2.3 タイプⅢカメラの概要	2
2 設置	2
2.1 タイプⅠカメラの設置	2
2.1.1 ジャンクションボックス無しの天井吊り 下げ型/壁掛け型	2
2.1.2 ジャンクションボックス付きの天井吊り 下げ型/壁掛け型	3
2.2 タイプⅡカメラの設置	4
2.2.1 ジャンクションボックス無しの天井吊り 下げ型	4
2.2.2 ジャンクションボックス付きの天井吊り 下げ型	5
2.2.3 壁面取付け	6
2.3 タイプⅢカメラの設置	6
2.3.1 ジャンクションボックス無しの天井吊り 下げ型/壁掛け型	6
2.3.2 ジャンクションボックス付きの天井吊り 下げ型/壁掛け型	8
3 メニュー説明	9
3.1 ビデオフォーマット	10
3.2 露光	10
3.3 DAY/NIGHT	11
3.4 ビデオ設定	12
3.5 FACTORY DEFAULT	13
3.6 EXIT	13
3.7 SAVE & EXIT	13

1 はじめに

1.1 本機の特徴

主な特徴は以下の通りです。

- 高性能 CMOS センサー
- Smart IR
- パリフォーカルレンズ
- オートスイッチ付き IR カットフィルター
- パラメーター設定可能な OSD メニュー
- オートホワイトバランス
- 3 軸調整

1.2 概要

1.2.1 タイプ I カメラの概要

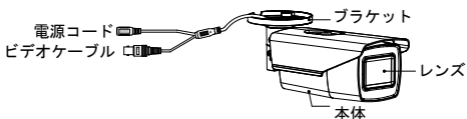


図1-1 同軸ケーブル電源供給タイプ I カメラ

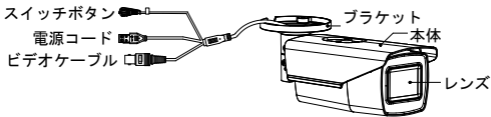


図1-2 タイプ I カメラ

1.2.2 タイプ II カメラの概要

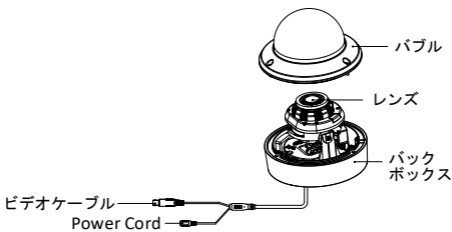


図1-3 同軸ケーブル電源供給タイプ II カメラ

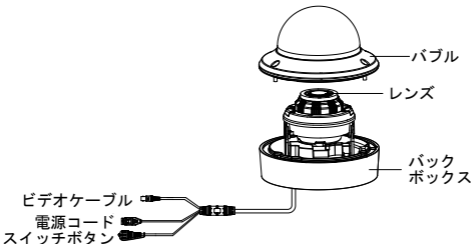


図1-4 タイプ II カメラ

1.2.3 タイプ III カメラの概要

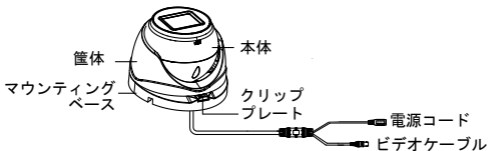


図1-5 同軸ケーブル電源供給タイプ III カメラ

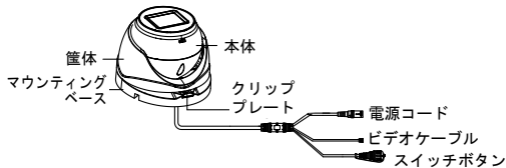


図1-6 タイプ III カメラ

2 設置

ご使用の前に：

- パッケージ内の本機が良好な状態で、すべての組立部品が含まれていることを確認してください。
- 設置中は、すべての関連機器の電源が切れていることを確認してください。
- 設置環境に関する本機の仕様を確認ください。
- 損害を避けるため、電源が使用する出力電源に合っているかどうかを確認してください。
- 壁・天井は、カメラと取り付け機器の3倍の重さに耐えられる強度があることを確認してください。
- 壁がセメントの場合は、カメラを設置する前に拡張ボルトを挿入してください。壁が木製の場合は、カメラを固定するためセルフタッピングネジを使用してください。
- 本機が正常に機能しない場合は、お買い上げの販売店または最寄りのサービスセンターまでご連絡ください。修理やメンテナンスのため、お客様ご自身でカメラを分解しないでください。

2.1 タイプ I カメラの設置

2.1.1 ジャンクションボックス無しの天井吊り下げ型/壁掛け型

ステップ：

1. ドリルテンプレートを天井・壁に貼り付けます。
2. 天井・壁にネジ穴とケーブル穴を開けます。

メモ：

天井にコンセントがある場合は、ケーブルの配線に必要な穴を開けてください。

3. ブラケットを天井・壁に取り付け、PA4×25-SUS ネジ 3本でカメラを固定します。

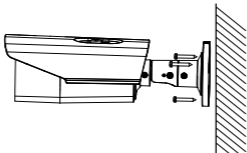


図2-1 カメラを天井に固定する

注意：

- 付属のネジパッケージには、セルフタッピングネジと拡張ボルトが含まれています。
- セメントの壁・天井の場合、カメラの固定に拡張ボルトが必要です。木製の壁・天井の場合、セルフタッピングネジが必要です。

4. ケーブル穴、または側面開口部からケーブルを配線します。
5. ケーブルを接続します。
6. モニターに映る映像が最適な角度から撮影されているか確認します。最適な角度でない場合は、下図に従って角度を調整してください。

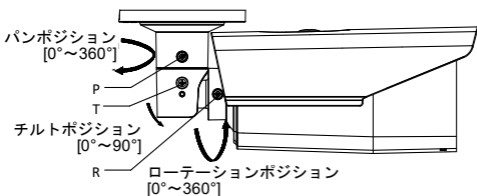


図2-2 3軸調整

- 1). チルト調整ネジを緩めて、チルトポジション [0°~90°] を調整します。
- 2). パン調整ネジを緩めて、パンポジション [0°~360°] を調整します。
- 3). ローテーション調整ネジを緩めて、ローテーションポジション [0°~360°] を調整します。
7. ネジとトリムリングを締めて、取り付けを完了します。

2.1.2 ジャンクションボックス付きの天井吊り下げ型/壁掛け型

ご使用の前に：

ジャンクションボックスを別途購入する必要があります。

ステップ：

1. ジャンクションボックスのドリルテンプレートを天井・壁に貼り付けます。
2. ジャンクションボックスを分解し、カメラのネジ穴とジャンクションボックスのカバーのネジ穴を合わせます。
3. ジャンクションボックスのカバーにカメラを PM4×10 ネジ 3 本で取り付けます。

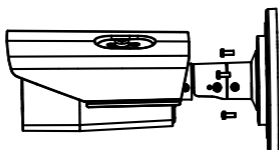


図2-3 ジャンクションボックスのカバーにカメラを取り付ける

4. ジャンクションボックスの本体を PA4×25 のネジ 3 本で天井・壁に固定します。

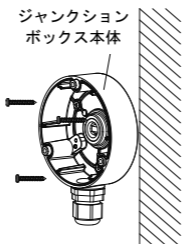


図2-4 ジャンクションボックスを壁・天井に固定する

5. 底面のケーブル穴、またはジャンクションボックス側面のケーブル穴からケーブルを配線します。
6. ジャンクションボックスカバーを本体に組み合わせます。

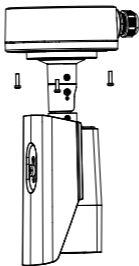


図2-5 ジャンクションボックスのカバーと
本体を組み合わせる

7. 2.1.1「ジャンクションボックス無しの天井吊り下げ型/
壁掛け型」のステップ5~7を繰り返して、設置を完了
します。

2.2 タイプIIカメラの設置

2.2.1 ジャンクションボックス無しの天井吊り下げ型

ご使用の前に：

ドームカメラは、壁掛け型、天井吊り下げ型ともに取り付けが可能です。本項では、天井吊り下げ型の取り付けを例に挙げて説明します。壁掛け型は、天井吊り下げ型のステップを参考にしてください。

ステップ：

1. ドリルテンプレートを天井に貼り付けます。
2. ドリルテンプレートに従って、天井にネジ穴とケーブル穴（オプション）を開けます。



図2-6 ドリルテンプレート

メモ：

天井のコンセントを使用する場合は、ケーブルを配線するケーブル穴が必要です。

3. カメラを分解してバブルを取り外します。

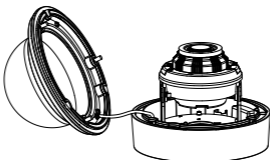


図2-7 バブルを取り外す

4. カメラのバックボックスを天井に取り付け、PA4×25 ネジ3本で固定します。

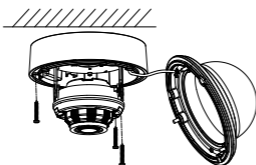


図2-8 バックボックスの取り付け

注意：

- 付属のネジパッケージには、セルフタッピングネジと拡張ボルトが含まれています。

- 天井がセメントの場合、カメラの固定に拡張ボルトが必要です。天井が木製の場合、セルフタッピングネジが必要です。
5. ケーブル穴、または側面開口部からケーブルを配線します。
 6. ケーブルを接続します。
 7. モニターに映る映像が最適な角度から撮影されているか確認します。最適な角度でない場合は、下図に従って角度を調整してください。

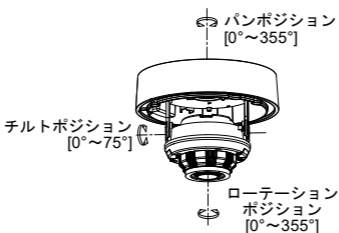


図2-9 3軸調整

8. チルトポジション [0°~75°]、パンポジション [0°~355°]、ローテーションポジション [0°~355°] を調整します。
9. バブルバックをカメラに取り付けます。

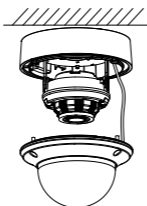


図2-10 バブルバックを取り付ける

10. ドームカメラのバブルのネジを締めて、設置完了です。

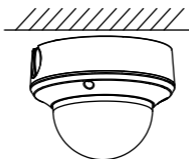


図2-11 設置の完了

2.2.2 ジャンクションボックス付きの天井吊り下げ型

ご使用の前に：

ジャンクションボックスを別途購入する必要があります。

ステップ：

1. ドリルテンプレートを天井に貼り付けます。
2. ドリルテンプレートに従って、天井に2つのネジ穴とケーブル穴を開けます。
3. ジャンクションボックスを天井に PA4×25 ネジ 4本で固定します。

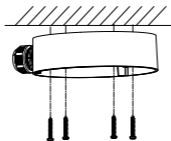


図2-12 ジャンクションボックスを固定する

4. 2.2.1「ジャンクションボックス無しの天井吊り下げ型」のステップ3~10を繰り返して、設置を完了します。

2.2.3 壁面取付け

ご使用の前に：

ブラケットを別途購入する必要があります。

ステップ：

1. ブラケットを4本のM6拡張ボルトで壁に取り付けます。

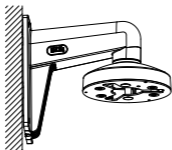


図2-13 ブラケットの取り付け

2. カメラを分解してバブルを取り外します。
3. カメラのバックボックスをブラケットに取り付け、PM4×8 ネジ3本で固定します。
4. 2.2.1「ジャンクションボックス無しの天井吊り下げ型」のステップ5から10を参照して、カメラをブラケットに固定し、取り付けを完了します。

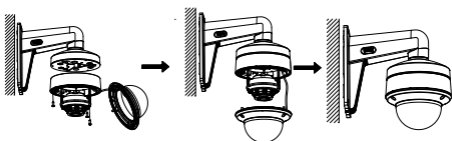


図2-14 カメラをブラケットに固定する

2.3 タイプⅢカメラの設置

2.3.1 ジャンクションボックス無しの天井吊り下げ型/壁掛け型

ご使用の前に：

天井吊り下げ型と壁掛け型の設置手順は同様なので、以下では天井吊り下げ型を例にとって説明します。

ステップ：

1. カメラを設置したい場所に、ドリルテンプレート（付属）を貼り付けます。
2. ドリルテンプレートにしたがってネジ穴を開け、天井にケーブル穴（オプション）を開けます。

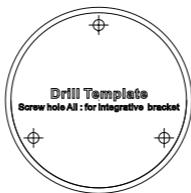


図2-15 ドリルテンプレート

メモ：

天井にコンセントがある場合は、ドリルテンプレートの中央にケーブル穴を開け、ケーブルを配線します。

3. ネジを緩めてクリッププレートを外し、本体を取り出します。

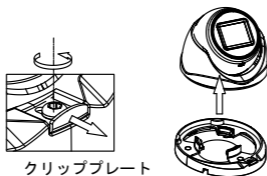


図2-16 クリッププレートを取り外す

4. PA4×25 ネジ 3 本でマウンティングベースを天井に取り付けます。

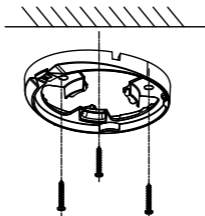


図2-17 マウンティングベースを天井に取り付ける

注意：

- 付属のネジパッケージには、セルフタッピングネジと拡張ボルトが含まれています。
 - セメントの壁・天井の場合、カメラの設置には拡張ボルトが必要です。木製の壁・天井の場合、セルフタッピングネジが必要です。
5. ケーブル穴、または側面開口部からケーブルを配線します。
6. 本体を取付台に取り付け、クリッププレートを差し込みます。

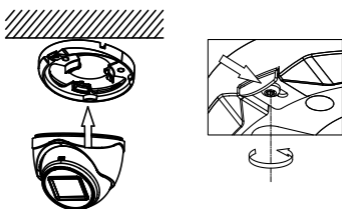


図2-18 カメラの設置

7. ドライバーでネジを締めます。
8. ケーブルを接続します。
9. モニターに映る映像が最適な角度から撮影されているか確認します。最適な角度でない場合は、下図に従って角度を調整してください。

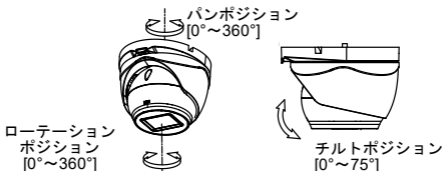


図2-19 3軸調整

- 1). カメラ本体を持ち、筐体を回転させてパンポジション [0°~360°] を調整します。
- 2). カメラ本体を上下に動かして、チルトポジション [0°~75°] を調整します。
- 3). カメラ本体を回転させて、ローテーションポジション [0°~360°] を調整します。

2.3.2 ジャンクションボックス付きの天井吊り下げ型/壁掛け型

ご使用の前に：

ジャンクションボックスを別途購入する必要があります。

ステップ：

1. ドリルテンプレートを天井・壁に貼り付けます。
2. ドリルテンプレートの穴に合わせて、天井・壁にネジ穴とケーブル穴を開けます。



図2-20 ジャンクションボックスのドリルテンプレート

メモ：

天井にコンセントがある場合は、ケーブルの配線に必要な穴をあけてください。

3. 2.3.1「ジャンクションボックス無しの天井吊り下げ型/壁掛け型」のステップ3を参照して、カメラ本体を取り出します。
4. ジャンクションボックスを分解し、カメラのネジ穴とジャンクションボックスのカバーのネジ穴を合わせます。
5. カメラのマウントベースをジャンクションボックスのカバーに PM4×10 ネジ 3本で固定します。

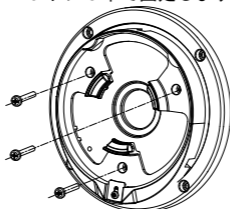


図2-21 ジャンクションボックスのカバーをネジで固定する

6. ジャンクションボックスの本体を PA4×25 のネジ 4本で天井・壁に固定します。

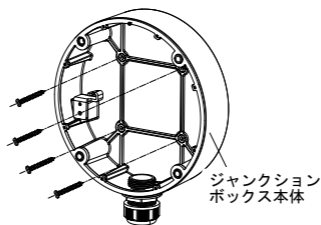


図2-22 ジャンクションボックスの本体を壁や天井に固定する

7. ジャンクションボックスカバーの付属のネジで、ジャンクションボックスのカバーを本体に取り付けます

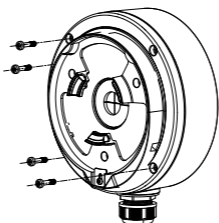


図2-23 ジャンクションボックスを固定する

8. 2.3.1「ジャンクションボックス無しの天井吊り下げ型/壁掛け型」のステップ5~9を繰り返して、設置を完了します。

3 メニュー説明

以下の手順でメニューを表示させてください。

メモ:

実際の表示はカメラの機種によって異なる場合があります。

ステップ:

1. 図3-1に示すように、カメラとTVI DVR、モニターを接続します。

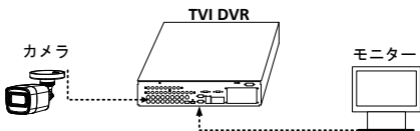



図3-1 接続

2. カメラ、TVI DVR、モニターの電源を入れ、モニターに映像を表示します。
3. PTZコントロールをクリックして、PTZコントロールインターフェースに入ります。
4.  ボタンをクリックするか、プリセット No.95 を呼び出してメニューを表示します。

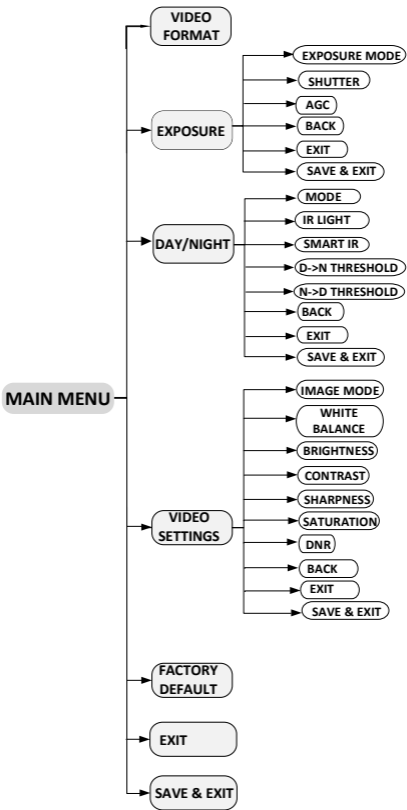


図3-2 メインメニューの概要

5. 方向矢印をクリックして、カメラを操作することができます。
- (1). 上下ボタンで項目を選択します。
 - (2). Iris +をクリックして、選択を確定します。
 - (3). 左右ボタンをクリックして、選択した項目の値を調整することができます。

3.1 ビデオフォーマット

ビデオフォーマットを 2MP@25fps、2MP@30fps、4MP@25fps、4MP@30fps、5MP@20fps に設定できます。

3.2 露光

露光モード

EXPOSURE MODE は **GLOBAL**、**BLC**、**WDR** または **HLC** に設定します。

● GLOBAL

GLOBAL は、配光、バリエーション、および非標準処理を調整する通常露光モードです。

● BLC (逆光補正)

BLC (逆光補正) は、前方の被写体を鮮明にするため光を補正する機能ですが、光の強い背景を過剰にしてしまうことがあります。

● HLC (ハイライト補正)

HLC は highlight compensation の略称です。カメラが強いスポット (画像の過剰露出部分) を検出し、強いスポットの輝度を下げて画像全体を改善します。

● DWDR (デジタルダイナミックレンジ)

デジタルワイドダイナミックレンジは、画像の暗い部分だけでなく、画像の極端に明るい部分やコントラストの高い部分を撮影するカメラの機能です。

SHUTTER

SHUTTER は、光が入る時間を制限することによって露光をコントロールする写真撮影用の装置です。SHUTTER は AUTO または他の特定の値を選択することができます。

AGC (自動利得制御)

光の状態が悪いときの画像の鮮明さを最適化します。AGC レベルは HIGH、MEDIUM、LOW に設定できます。

メモ:

AGC レベルを設定すると、ノイズが増幅されます。

3.3 DAY/NIGHT

DAY/NIGHT スイッチは COLOR、B&W (白黒)、AUTO の選択ができます。

COLOR

画像は昼間モードで全てカラーとなります。

B&W (白黒)

画像は全て白黒で、光量不足の時、IR LIGHT が点灯します。

IR LIGHT の ON/OFF を切り替えて、このメニューで SMART IR の値を設定します。

DAY/NIGHT	
MODE	◀ B & W ▶
IR LIGHT	◀ ON ▶
SMART IR	◀ 1 ▶
BACK	←
EXIT	←
SAVE & EXIT	←

図3-3 DAY/NIGHT

● IR LIGHT

IR LIGHT の ON/OFF を切り替えて、様々な状況に対応することができます。

● SMART IR

SMART IR 機能は、光を最適な強さに調整し、画像の過露光を防ぐために使用されます。

AUTO

実際のシーンの明るさに応じて、Color、B&W (白黒) を自動で切り替えます。

IR LIGHT の ON/OFF を切り替えて、このメニューで SMART IR の値を設定します。

DAY/NIGHT	
MODE	◀ AUTO ▶
IR LIGHT	◀ ON ▶
SMART IR	◀ 0 ▶
D → N THRESHOLD	◀ 7 ▶
N → D THRESHOLD	◀ 7 ▶
BACK	←
EXIT	←
SAVE & EXIT	←

図3-4 DAY/NIGHT

● IR LIGHT

IR LIGHT の ON/OFF を切り替えて、様々な状況に対応することができます。

● SMART IR

SMART IR 機能は、光を最適な強さに調整し、画像の過露光を防ぐために使用されます。

● D→N Threshold (昼間から夜間のしきい値)

Day to Night Threshold は、デイモードからナイトモードへの切り替えの感度をコントロールするために使用します。1~9の値を設定できます。値が大きいほど、カメラは高感度になります。

● N→D Threshold (夜間から昼間のしきい値)

Night to Day Threshold は、ナイトモードをデイモードへの切り替えの感度をコントロールするために使用します。1~9の値を設定できます。値が大きいほど、カメラは高感度になります。

3.4 ビデオ設定

VIDEO SETTINGS にカーソルを移動して Iris+ をクリックするとサブメニューに入ります。IMAGE MODE、WHITE BALANCE、BRIGHTNESS、CONTRAST、SHARPNESS、SATURATION、DNR は調整可能です。

VIDEO SETTINGS	
IMAGE MODE	◀ STD ▶
WHITE BALANCE	↵
BRIGHTNESS	◀ 5 ▶
CONTRAST	◀ 5 ▶
SHARPNESS	◀ 5 ▶
SATURATION	◀ 5 ▶
DNR	◀ 5 ▶
BACK	↵
EXIT	↵
SAVE & EXIT	↵

図3-5 ビデオ設定

IMAGE MODE

IMAGE MODE は、画像の彩度を調整するためのもので、STD (標準)、または HIGH-SAT (高彩度) に設定できます。

WHITE BALANCE

カメラの白色表現機能であるホワイトバランスは、環境に応じて色温度を調整します。画像に含まれる非現実的な色かぶりを除去できます。WHITE BALANCE モードは AUTO または MANUAL に設定できます。

● AUTO

AUTO モードでは、シーンの照明の色温度に応じてホワイトバランスが自動調整されます。

● MANUAL

画像の赤・青の濃淡を調整する R-GAIN/B-GAIN の値を設定します。

WHITE BALANCE	
MODE	◀ MANUAL ▶
R-GAIN	◀ 110 ▶
B-GAIN	◀ 110 ▶
BACK	↵
EXIT	↵
SAVE&EXIT	↵

図3-6 MWB モード

BRIGHTNESS

Brightness とは、画像の明るさのことです。明るさの値を1~9で設定し、画像を暗くしたり明るくしたりすることができます。数値が高いほど明るい画像になります。

CONTRAST

画像内の部分的な色や光の違いを強調する機能です。

SHARPNESS

Sharpness とは、画像処理システムが再現できるディテールの量を決定するものです。

SATURATION

Saturation とは、色彩感覚全体に占める純粋な有彩色の割合のことです。この機能を調整すると、色の彩度を変えることができます。

DNR

DNR とはデジタルノイズリダクションのことです。この機能は、ビデオストリームのノイズを低減します。

3.5 FACTORY DEFAULT

すべてのパラメータを工場出荷時の設定に戻します。

3.6 EXIT

EXIT にカーソルを移動して Iris+ をクリックすると、メニューを終了します。

3.7 SAVE & EXIT

SAVE & EXIT にカーソルを移動して Iris+ をクリックすると設定を保存し、メニューを終了します。